

# 新しい糖尿病のコントロール基準を用いる際のポイント



(図 糖尿病診断と管理の指標に関するリーフレットより)

① 大原則は HbA1c(NGSP)値で 7%未満をめざし、合併症の発症を抑えることを目標とすることです。

この目標値は、基本的に日本で行われた熊本 study の結果によります (HbA1c(NGSP)値で 6.9%未満を維持すれば、網膜症、腎症の発症を抑制できるというものです)。この値、並びに海外のエビデンスの結果を用いて 7%未満という目標値が決定されました。

尚、対応する血糖値としては、空腹時血糖値 130mg/dL 未満、食後 2 時間血糖値 180mg/dL 未満をおおよその目安とする、とされています。

② 現在、食事、運動療法のみ、もしくは低血糖を起こす可能性が低い薬剤 (DPP4 阻害薬、ビッグアニド薬、チアゾリジン薬、 $\alpha$  グルコシダーゼ阻害薬) のみで、HbA1c(NGSP)値で 7%未満より正常に近い値を維持している方においては、現状の治療を継続してください。

7%前後まで、あえて、コントロールを緩くする必要はありません。

③ 今までの、優、良、可、不可を廃止したのは、優を目指すために、安易に S U 薬が処方され、重症低血糖をおこす事例が少なくないことも一つの理由です。

神戸市における低血糖による救急搬送で、一番多い処方内容はグリメピリド(アマリール)1mg であることが、報告されています。(糖尿病 55 巻 11 号 p857-865,2012,11)

④ 血糖コントロールのために S U 薬、もしくはインスリン(低血糖を起こすリスクの高い薬)の使用が必要不可欠な方においては、原則、HbA1c(NGSP)値 7%未満をめざし、低血糖を起こしてしまう場合は、個々に応じて、コントロール目標を 8%未満まで緩和してもよいことになります。

⑤ 高齢者 (特に後期高齢者) や、合併症が進行している方においては、HbA1c(NGSP)値 7%未満をめざすことが必ずしも予後の改善につながらない可能性があるため、主治医の判断により個々の病態に応じて、コントロール目標を 8%未満まで緩和してもよいことになります。

平成 25 年 5 月

東京都医師会生活習慣病対策委員会 / 東京都糖尿病対策推進会議

# 糖尿病

診断と管理の指標に関するリーフレット

## 2013年4月1日から 国際標準化に伴い

ヘモグロビン・エイワンシー

# HbA1c

の表記が統一されます。

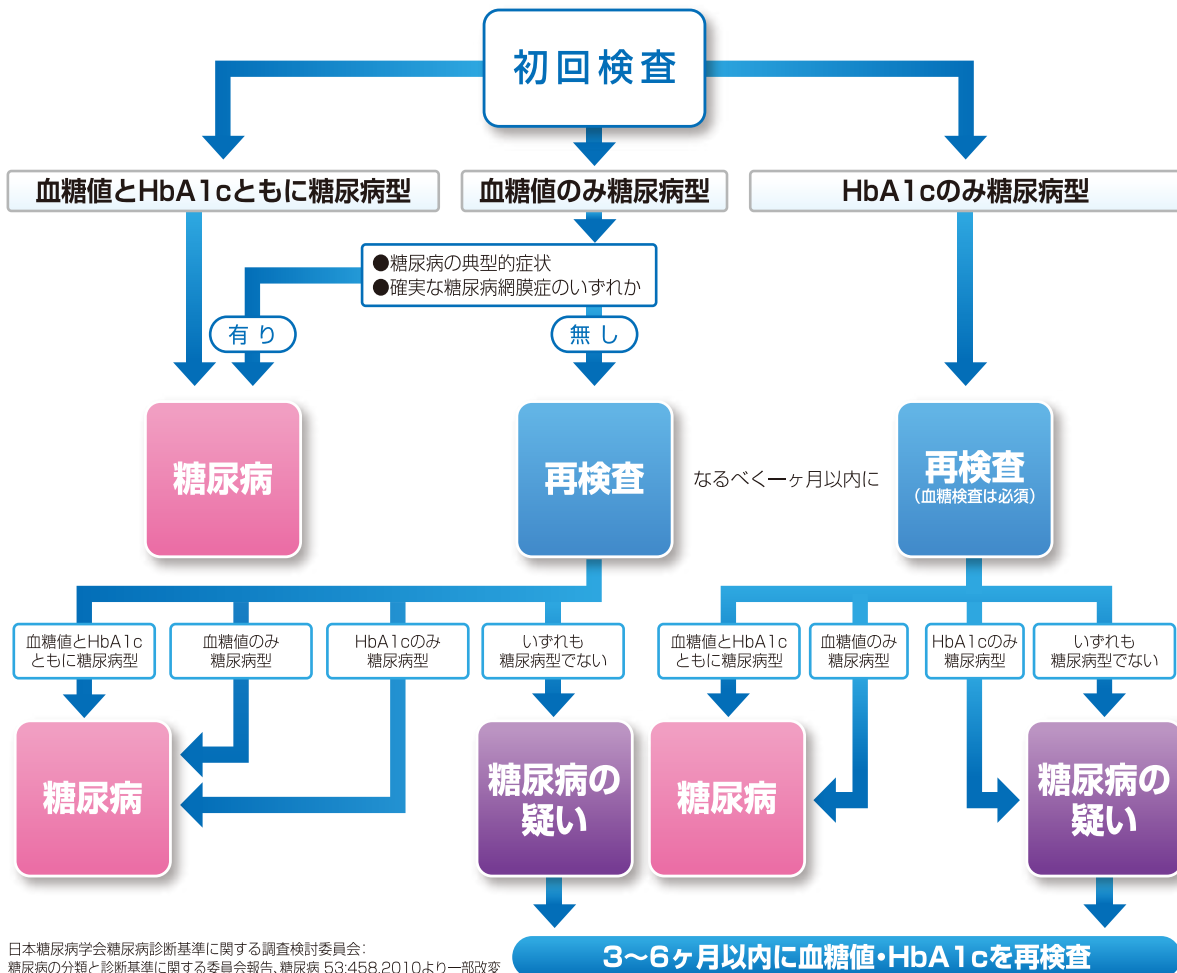
監修 / 日本糖尿病対策推進会議

お問い合わせ先 | 日本糖尿病学会 ▶ <http://www.jds.or.jp/> | 日本糖尿病協会 ▶ <http://www.nittokyo.or.jp/>

### 糖尿病の臨床診断のフローチャート

#### 糖尿病型

血糖値(空腹時 $\geq 126\text{mg/dL}$ 、OGTT2時間 $\geq 200\text{mg/dL}$ 、  
随時 $\geq 200\text{mg/dL}$ のいずれか)  
HbA1c(NGSP:世界標準の数値) $\geq 6.5\%$   
[HbA1c(JDS:日本でこれまで使われてきた数値) $\geq 6.1\%$ ]



# 糖尿病型と血糖値の判定区分

## 糖尿病型の定義

### 【血糖値】

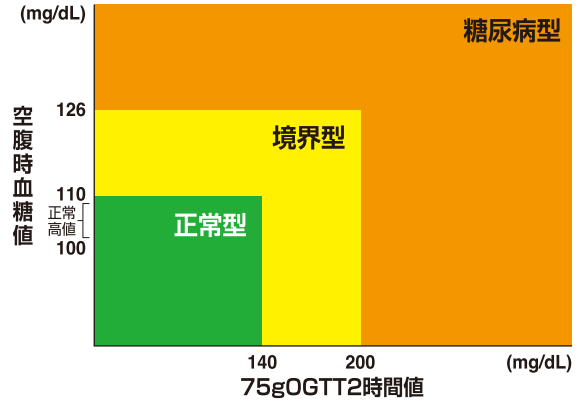
- ① 空腹時血糖値  $\geq 126$ mg/dl
- ② 75g経口糖負荷試験(OGTT)2時間値  $\geq 200$ mg/dl
- ③ 随時血糖値  $\geq 200$ mg/dl

### 【HbA1c】\*

- ④ HbA1c(NGSP)  $\geq 6.5\%$   
[HbA1c(JDS)  $\geq 6.1\%$ ]

\*HbA1cには、国際的に広く使用されているNGSP値で表記されたHbA1c(NGSP)と、日本でこれまで使用されてきたJDS値で表記されたHbA1c(JDS)があり、およそ0.4%異なる。2013年4月より特定健診等ではNGSP値のみが使用される。日常臨床においても、2014年3月までにNGSP単独表記となる。

## 血糖値の判定区分



## 血糖コントロール目標

NGSP値に統一

### 血糖正常化を目指す際の目標

※適切な食事療法や運動療法だけで達成可能な場合、または薬物療法中でも低血糖などの副作用なく達成可能な場合の目標とする。

HbA1c  
6.0%  
未満

### 合併症予防のための目標

※合併症予防の観点からHbA1cの目標値を7%未満とする。対応する血糖値としては、空腹時血糖値130mg/dL未満、食後2時間血糖値180mg/dL未満をおおよその目安とする。

HbA1c  
7.0%  
未満

### 治療強化が困難な際の目標

※低血糖などの副作用、その他の理由で治療の強化が難しい場合の目標とする。

HbA1c  
8.0%  
未満

### コントロール目標値

治療目標は年齢、罹病期間、臓器障害、低血糖の危険性、サポート体制などを考慮して、個別に設定します。いずれも成人に対するの目標値であり、また妊娠中は除くものとします。

※HbA1cの目標値は、2013年6月1日から変更となります。以前のHbA1c(JDS)の数値と比較するときは、0.4%引いて考えてください。